

県陵はこの四月、64回目の新年度を迎え、ひとまわり大きくなつた年輪のもとに力強く出発をいたしました。東京同窓会の皆様におかれても、いよいよ健勝にて活躍のことと大慶に存じあげます。さて今回、皆様には大変嬉しい近況を報告いたします。

## あたらしき皮袋に… 校舎改築と校庭拡張と



学校長

安江昭祐

県陵はこの四月、64回目の新年度を迎え、ひとまわり大きくなつた年輪のもとに力強く出発をいたしました。東京同窓会の皆様におかれても、いよいよ健勝にて活躍のことと大慶に存じあげます。さて今回、皆様には大変嬉しい近況を報告いたします。

3月27日無事起工式を済ませました。学

校から500mという距離で

用地取得が漸く成り立つことになりました。県

陵永年の夢がここに実現され

ますことに校長として、いさ

さかの感慨を禁じ得ません。

この間における用地確保への

対応は、打合せや協議会52回、

地権者宅訪問18回、地権者及

び周辺住民への説明会22回、

県への陳情6回、期成同盟会

総会3回都合101回という諸会

くさせ氣の毒な面も生じます。

(五月一日送稿)

合の結果うみだされた成果で

した。この成功の原動力、大

戦力となつたのは、同窓諸氏

の並々ならぬお力添えのお陰

であります。県議、県教委、

市教委、地元役員、地権者と

いうグラウンド確保運動に關

係するボジション全てに同窓

生があり、その熱心な推進力

と各々の立場を越えた母校愛

の結集昇華に他なりません。

心からの感謝をこめてご報告

申しあげたいと存じます。

もう一度姿を消すことは、誠に

残念であります。東京の皆様

も帰省の折にはぜひお立ち寄り

いただき、新世紀へ向かって

もつて姿を消すことは、誠に

残念であります。東京の皆様

も帰省の折にはぜひお立ち寄り

いただき、新世紀へ向かって

もつて姿を消すことは、誠に</





昭和12年、私は鹿島組に採用され、鮮満国境の茂山へ赴いた。前年は秋であった。独り身の気易さに向こう見ずの性格も手伝って、それまで勤めていた県の耕地課の職を投げ捨て、郷里の松本を後にして、列車と連絡船を乗り継いで半島に上陸。朝鮮最北部、咸鏡北道の鉄砥山の街へ辿り着いた時は思わず武者震いが止まらなかつた。想い出すだけ懐かしい渡り鳥稼業の青春遍歴が始まったのであった。(前号まで)

茂山の街は、正式には茂山郡茂邑は町のことで茂山邑と呼ばれていった。緯度の上からは北海道旭川市とほぼ同じだが、大陸性気候で湿度が極端に低いため、年間の総雨量は300ミリと少ない。

因みに、松本市は2千ミリと多い。空気が乾いているため、内地からやって来る人は一冬越すと血管支炎に罹るといわれている。水点下の寒い日でも膚には、さほど感じない。だが、この体感温度が曲者で大抵の人のが凍傷に悩まされた。冬の期間が長いので食べ物も朝鮮漬けをはじめ、辛くて塩分の強いものが多い。

骨の部屋はなくオンドル床が大部分である。オンドル床は馴れるところだ。



離れて三箇の社宅区があり、反対側の4kmには磁山の工場群が形成されていた。

磁山の街・茂山の建設は三菱鉱業が手懸けてきた。数回におよぶ採鉱調査隊の含有量調査の結果、良質な鉄磁石の磁脈があることが判った。日本政府の援助をバックに資本金4億円の「茂山鉄礦開発株式会社」を設立し、ここに一大開発プロジェクトが展開されることにになった。「鉄は国家なり」といわれ、そのシンボル的存在であつた。大きな磁石は落下するにつつ日本製鉄の資本金が、當時2

億円であったことを考へると、案外と便利であった。さらに多くの利点をもつてゐる。焚口に大きな鍋金を備えておけば、お湯も豊富に使え、薄い煎餅布一枚の寝床でも充分に寒さを凌ぐことができた。火種が残つてゐるため、すぐにお茶の準備もでき、オンドルの補修も費に比べて簡単であつた。人口は約6千人。現地人の朝鮮人をはじめ満州人、ロシア人が居り日本人は僅かで磁山と建設に従事する者が300人程であった。茂山邑は、南安縣の豊科町より少しばかり小さい街並みで、ここから2km

を送り込んだ。最初は5人程の出張所が30人、60人など倍々ゲームで増員され拡張していった。工事量の増加に対応すべく体制を強化したもので、まさにこの時期私も海を渡つたのであった。

がつくであろう。

工場の建設は、まず山の切崩しと道路工事から始まつた。直径15cmもある大型ヤンドリル、30t大型ダンプカー、戦車のキヤタビラを受けた特殊シャベル、200mも離れた三箇の社宅区があり、反対側の4kmには磁山の工場群が形成されていた。

磁山の街・茂山の建設は三菱鉱業が手懸けてきた。数回におよぶ採鉱調査隊の含有量調査の結果、良質な鉄磁石の磁脈があることが判った。日本政府の援助をバックに資本金4億円の「茂山鉄礦開発株式会社」を設立し、ここに一大開発プロジェクトが展開されるこ

とにになった。「鉄は国家なり」といわれ、そのシンボル的存在であつた。大きな磁石は落下するにつつ日本製鉄の資本金が、當時2

## 北辺の町で

中七 塩原 貞文(顧問)

### 想い出の記

(3)

のベルトコンベアー等々ドイツ製やアメリカ製の輸入機械が活躍。国産でその威力を試された6輪車の4ドントラックも、これら大型機械の前には影が薄かつた。30tの磁石ダンプ車が、山腹の磁道めがけて何十台も連なつて駆け巡る様は、建設の雄叫びにも似た頗もし

が幸か不幸か検閲の初日になつて発熱し、手足とも全く動かなくなつてしまつた。軍医の診断によると左肺門部浸潤で軍病院へ後方移送とまつた。お國に奉公せぬうちにベッドでの療養生活となつてしまつた。一こんな時郷里より慰問團が来ると、さあ困つたことになつた。【以下次号】



茂山の人口は、工場群の建設とともに賑わつた。社宅は一棟四戸のが550棟。学校の増設、憲兵隊、警察署、鮮満運輸、駅舎の改築等僅か3年にして1万5千人の都邑へと発展して行った。

昭和14年11月、私にとって運命

の赤紙が届いた。会寧の工兵第19

連隊へ入営せよとの召集令状であ

る。期日、場所、注意事項などを

事細かに指定してあり待つたなし

である。一週間の猶予はあるには

あつたのだが、何分にも突発的な

ことで、施工中の仕事を引継ぐの

昭和14年11月、23才の時、現地召集で会軍工兵連隊への入隊を記念して。

### 編集後記

才能開発・国際人育成業務  
(株)SPインターナショナル

代表取締役 田中泰英  
(高校8回)

〒160 東京都新宿区西新宿8-12-1  
サンパレス新宿ビル1107号室  
TEL 03(366) 1611(代)  
FAX 03(366) 1643

美鈴産業株式会社  
桝建設株式会社

塩原貞文  
(中学7回)

〒145 東京都大田区田園調布2-3-95  
TEL 03-721-3677

タイガーピンスポーツ用品  
(株)タイガーポート支社

支社長 奥原輝男  
(高校15回)

〒113 東京都文京区井草2-5-3  
岩間コーポ1F  
TEL 03-818-8251  
FAX 03-818-8252

宝石・貴金属・時計  
株式会社 東京宝石

代表取締役社長 吉井弘明  
(高校8回)

〒103 東京都中央区日本橋人形町2-2-3  
堀川ビル3F  
電話 03(664) 40331(代)  
FAX 03(664) 4033  
支店 新宿・岡山・松江